

奄美で土木フェスタ (2015/11/25 4面) 建設業の魅力伝える



県建設業協会奄美支部主催の「2015土木フェスタinあまみ」が22日、奄美市の名瀬港長浜観光船バースであった。建設業人材確保・育成事業の一環として昨年から行われているもので、今回も市内外から多くの家族連れなど約6500人が訪れ、重機試乗や仕事体験を楽しんだ。

一番人気の重機体験コーナーには開始30分前から長蛇の列ができ、約700人の子どもがユンボやフォークリフト、高所作業車に乗り、指導のもとで砂をすくう作業体験にチャレンジした。子供たちはこのあと試乗写真やミニチュア重機のプレゼントをうれしそうに受け取るなど、初めての体験を満喫していた。また県大島支庁建設部は土木パネル展示や土砂災害模型実験で公共事業の必要性をアピールした。

また、奄美市市制10周年イベント「おしごとテーマパーク」と銘打ち開いたイベントには、土木フェスタのほかに郵便局や警察官などの仕事を体験できる「わらぶっきゃ横町」もオープン。子供たちはそれぞれのブースで郵便配達や新聞製作、指紋採取など楽しんだ。

会場内では県建設業青年部会奄美支部の会員約30人が対応にあたった。川畑進愛支部長は「他団体と手を携えることでこれだけ大きなイベントができる。これからも会員がさまざまなアイデアを出し合い担い手育成に取り組んでいきたい」と話した。

[更新:2015/11/25 No:688747]